

宮城県事故多発交差点において県・県警等と街頭啓発活動を実施

～啓発チラシを八乙女交差点（県内ワースト2位）で配布～

日本損害保険協会東北支部（委員長：鈴木 恵子・東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員）は、宮城県および宮城県警と連携して、車線はみ出し事故防止と歩行者・自転車向け事故防止を訴えた注意喚起チラシを作成するとともに、2023年中の事故多発交差点ワースト2位である八乙女交差点（仙台市泉区）において街頭啓発活動を行いました。

当支部では、宮城県および宮城県警と交通事故防止等にかかる協定を締結しており、毎年、連携した啓発の取り組みを行っています。

今年度は、県内で車線はみ出しによる死亡事故が多発していることを受け、ドライバー向けにはドラレコ付自動車保険の紹介を、歩行者向けには反射材の着用を、自転車利用者向けにはヘルメット着用と道路交通法改正に伴う運転中の携帯電話等の使用と酒気帯び運転での罰則追加を訴えた啓発チラシを45,000部作成しました。このうち、県に25,000部、県警に15,000部提供し、各警察署における高齢者宅訪問や自治体での出前講座、損保契約者への情報提供などにおいて活用することとしています。

また、当該啓発チラシを用い、12月20日（金）に、八乙女交差点（仙台市泉区）において、泉警察署や交通安全協会などの関係者も加わり、総勢約30名で、事故が多くなる夕暮れ時の時間帯に、ドライバーや自転車運転者、歩行者に対し注意喚起を行いました。本交差点は、横断歩道の利用も多く、小学生の通学路にもなっています。今回の活動を通じて、1件でも悲惨な事故を減らすことに繋がれば幸いです。

当支部では引き続き、関係機関と連携し、事故防止・軽減に向けた取組みを推進していきます。

* 街頭啓発活動の当日は、河北新報社の取材があり、12月23日（月）に報道されました。



宮城県版チラシ
(左:表面、右:裏面)



松代事務局長のからの挨拶



啓発チラシを渡す損保社員



交差点での活動の様子

チラシの PDF は以下からご覧いただけます。

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2024/pdf/2501_chirashi.pdf